

第13回

ベストエコドライブ・コンテスト筆記試験問題

< 一般常識 >

解答用紙の解答欄に、正しいものには「○」、誤っているもの、定めのないもの、適切でないもの及び違反しているものには「×」を記入してください。

問1 「安全性優良事業所」認定の対象となるのは会社単位である。



問2 運転者は、運行管理者等が行う乗務前点呼、乗務後点呼や乗務途中の点呼を受けて、規定された報告をしなければならない。

問3 平成29年3月12日から施行された新しい免許制度で新設された準中型免許を取得すれば、最大積載量4.5トン未満、車両総重量8.5トン未満の車両を運転することができる。

問4 事業者は、点呼時に酒気帯びの有無を確認する場合には、運転者の状態を目視等で確認するほか、アルコール検知器を用いて行わなければならない。

問5 睡眠時無呼吸症候群になると、睡眠時の呼吸停止と再開が繰り返されるために血圧が低下し、血液も固まりやすくなることから、高血圧、糖尿病、狭心症、心筋梗塞、脳卒中など重大な合併症を引き起こすリスクが高まる。

問6 常時使用する労働者に対して、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)結果は、検査を行った医師、保健師等から直接本人に通知され、本人の同意なく事業者を提供することは禁止されている。

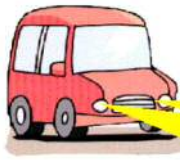
問7 「ETC2.0」の機能はいままでのETC2.0の機能と同じ高速道路利用料金の収受のみである。


問8 高速道路の本線上またはサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗降できるように設置されているETCを搭載した車両に限定したインターチェンジのことを「スマートインターチェンジ」と呼ぶ。

問 9 エコドライブとは、環境にやさしい運転による環境保護、資源保護、経済的利益の追求及び穏やかな運転を心掛けることによる安全性の追求をしようとする運動に由来している。

問 10 先進安全自動車（ASV）とは、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車で、「スーパーチャージャー」も実用化されたASV技術の一つである。

< 運転常識 >



- 問 1 1 夜間に前照灯を点灯する場合は、上向き点灯が原則である。ただし、対向車がいる場合は、前照灯を下向き点灯に切り替える。
- 問 1 2 車両は、道路のまがりかど付近、上り坂の頂上付近、勾配の急な下り坂の道路の部分においては、他の車両（軽車両を除く。）を追い越してはならない。
- 問 1 3 信号の赤色の灯火が点滅しているときは、自動車は他の交通に注意して進行することができる。
- 問 1 4 車両（乗合自動車、トロリーバスを除く。）は、車両通行帯がなく、道幅のせまい道路で、最高速度の高い車両に追いつかれたときは、できる限り道路の左側に寄って進路を譲らなければならない。
- 問 1 5 タイヤの空気圧不足で高速走行したとき、タイヤの接地部に波打ち現象が生じ、セパレーションやコード切れ等が発生することを「スタンディングウェーブ現象」という。
- 問 1 6 横断歩道等及びその手前の側端から30メートル以内は、追越しは禁止だが追い抜きは禁止されていない。
- 問 1 7 雨の降り始めに、路面の油や土砂などの微粒子が雨と混じって滑りやすい膜を形成するため、タイヤと路面との摩擦係数が低下し急ブレーキをかけたときなどにスリップすることを「ハイドロプレーニング現象」という。
- 問 1 8  この標識は、環状の交差点において、車両が右回り（時計回り）に通行すべきことを指定する標識ですが、合図の方法は、環状交差点から出ようとする地点の直前の出口の側方を通過したときに、左側の方向指示器を操作し、交差点を出るまで合図を継続すること。
- 問 1 9 バス優先とかかれた車両通行帯では、普通車は通行することができない。
- 問 2 0 荷卸先から道路へ出る際、歩道に歩行者がいなかったため、そのまま歩道を通じた。

〈 車両常識 〉

- 問 2 1 エンジンオイルは粘度が高いほど燃費が良くなり、粘度が低いほど燃費は悪くなる。
- 問 2 2 日常点検は、2日に1回、運行の開始前に行う点検のことである。
- 問 2 3 日常点検を実施するときは、平坦な場所で、エンジンなどが温まった状態で行う。
- 問 2 4 運転者が危険な状態を認めてからブレーキをかけ、ブレーキが効き始めるまでには、1秒くらいかかると言われ、これを反応時間という。
- 問 2 5 自動車がハンドルを切って右左折するときやバックするとき、後輪は前輪より内側を通る。
- 問 2 6 車両総重量8トン以上の自動車において、「ホイール・ナット及びホイール・ボルト」の緩み及び損傷の点検は、3月ごとに点検を行わなければならない。
- 問 2 7 スローイン・ファストアウト走行とは、カーブの手前の直線部分で速度を落とし、ゆっくりとカーブを回り終わる少し手前から徐々に加速する走り方をいう。
- 問 2 8 自動車は排気騒音やタイヤ騒音などの走行騒音を出すほか道路周辺に振動を与えるが、これらは、自動車の速度が遅いほど、また自動車の重量が軽いほど大きくなる。
- 問 2 9 遠心力の大きさは、カーブの半径が小さいほど大きくなり、速度の2乗に比例する。従って、速度が2倍になれば遠心力は4倍となる。
- 問 3 0 自動車が衝突した時の衝撃力は、速度が2倍になれば衝撃力は2倍になる。